

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選 ⑤

特選川越芋甘密忠右衛門 (島田屋総本家)



川越芋の歴史が脈々と受け継がれる

島田屋総本家の初代は1694年、川越藩の命を受け、川越芋産地を開拓した名主役忠右衛門。

皇室が御光来される農場

甘密^{かんみつ}というネーミングが語る通り、この御芋は、びっくりするほど蜜でねっとりしたような甘さである。もちろん、砂糖や蜂蜜などは一切入れていない。連作をしないことで、土の栄養をたっぷりと実に蓄える「島田農法」。大量生産を行う大規模農家には、真似のできない栽培法である。



甘密忠右衛門の御芋は、なかなか手に入らない。注文から発送まで、例年、最長3か月以上待つこともあるという。

この御芋を加工したお菓子も豊富である。焼き芋ロールケーキ風、黄金ほし芋、匠スイートポテト、川越芋タルト、芋煎餅、芋けんぴ、お芋チップス。さらには、芋羊羹、芋納豆、パンケーキ、ゴーフレット狭山茶&芋などなど。お洒落なパッケージングなので、お店のディスプレイにも一役買っているようだ。高級スーパーなどで上手く見つけることができれば、幸運である。



■農家 島田屋総本家
商家 島田忠右衛門襲爵本店
設え 御所下ル別屋

代表者：島田忠右衛門 (幼名 島田弥宏)
〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富 1471-1
Mail: mthrsmd@yahoo.co.jp
(ふじみ野支店取引先)